

・テストに必要な条件を事前に整理し、システム品質と作業効率の向上のための準備をします。

項目	内容		参考
ドキュメント	1	要件定義書・外部設計書	プロジェクトの成果物
	2	ベンダテストの結果報告書	最終ベンダテストによる留意点・課題・引継ぎ事項
	3	新業務フロー	新システムに対応した業務フロー、現行業務フローとの差異明確化
	4	新業務ルール	新業務フローを支える管理基準・判断基準などのルール説明
	5	新業務マニュアル	システム利用者の日常の業務遂行に必要な事項を整理
	6	引継書	前任者からの担当業務・システム関連の引継事項(処理方法・判断基準など)
	7	画面	画面一覧、画面のレイアウト・画面遷移、標準操作機能
	8	帳表・伝票	帳表のレイアウト、項目の目的と使用する意味
	9	システム概要図	関連する既存システムを含めたシステム処理の概要とデータ連携
	10	運用条件	日次、月次、各種業務の締め、前月／当月勘定処理、バッチ処理
	11	コード体系	採番、区分、フラグ、分類などの使用目的と内容説明
システム条件	1	マスタ	対象となる全マスタ、新システムの仕様
	2	残高データ	残高(在庫・売掛金・)、受注残などの生きたデータ (本番稼動時の存在)
	3	トランザクションデータ	初期化、又は事前発生も考慮 (本番稼動時の存在)
	4	コード体系 (伝票番号含む)	初期化、処理仕様に対応したセット (可変の考慮) パラメータ類も同様
	5	担当者	作業関連(パスワード、ID、メニュー、使用権限など) 取引先・商品・組織などの使用範囲 (他者との混在はテスト品質の低下)
	6	システム管理者	セキュリティ、アクセス権限、パスワード、メニューコントロール、組織変更などの非機能要件 (性能、拡張性も考慮)
	7	移行マスタ・データ	移行マスタ・データを使用したテスト実施が必須
	8	環境	サーバ、クライアント、ネットワーク

項目	内容		参考
運用条件	1	カレンダー	処理日・各種締日のコントロール、勘定月
	2	処理日の変化	テスト期間のなかで、日・週・月・期・年を変動させた日常業務の遂行
	3	コード体系	テスト期間のなかで、可変コード類を変動させた日常業務の遂行
テスト方法 (*3)	1	テスト組立	(システム・業務・組織)別のテストステップ・テストブロック・テストケース
	2	テストステップ(種類)	(ステップー1)プロジェクトメンバー・キーマン・担当者のステップ (ステップー2)単一のシステム・システム間・全システム間 *システム管理者用のテストステップを別途作成
	3	テストブロック(種類)	テストステップ内のテスト単位(例) (ブロッカーー1)単一システムと定例業務、単一システムと例外・特殊処理 (ブロッカーー2)システム間と定例・例外・特殊処理、運用条件の変化 (ブロッカーー3)全システム間と定例・例外・特殊処理、運用条件の変化
	4	テストケース、検証方法	テストステップ・テストブロック別のテストケース 変更処理・例外処理・特殊処理の重視
実施管理	1	体制	実行責任者、事務局、業務責任者(又は組織)、担当者
	2	テスト計画	目的、対象範囲、前提条件、テスト環境・条件、体制・役割、スケジュール
	3	テスト作業管理	テスト結果のチェック対象(照会・帳票・データベース……) 役割分担(テストステップ・テストブロック別) 詳細スケジュール(システム条件・運用条件も考慮) 問合せ窓口の設置 テスト関連情報の共有・通知 ベンダの体制と役割
	4	問題管理	テスト実施で発生した問題・課題の管理表、問題対応の手順

- * 1 ベンダテストで使用したテスト環境、テスト条件及びドキュメントで活かせるものは活かす工夫が必要です。
- * 2 ベンダテストの中で、ユーザが事前にテスト実施して品質が保証できるテストケースはパスするやり方もあります。
- * 3 「テスト方法」の具体的な説明とサンプル資料の開示は「ユーザのためのパッケージ導入 徹底解説セミナー」において行っています。D-Dock社のホームページを参照。